

2025年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：労働経済学特論	
担当教員名：李 永 俊	
授業科目概要： 本講義では、労働市場に関する諸問題について、文献の輪読と討論を通じて検討することを目的とする。講義の前半では、労働経済学の基礎理論について、教科書を用いて解説する。後半では、日本の労働市場が直面する諸問題のうち、特に人口減少に焦点を当てて講義を進める。また、人口減少に対する対策について、経済学の視点から多角的に考察する。講義の詳細については、開講時に担当教員に確認すること。	
履修上の留意事項： ・本講義は教科書の輪読を中心に進めるため、受講者の積極的な参加を強く推奨する。 ・学部レベルのミクロ経済学、マクロ経済学、および計量経済学の知識を前提とするため、これらの科目を事前に復習しておくことが望ましい。	
教科書・参考書（参考文献）	
書名：労働経済学—理論と実証をつなぐ— 著者／編者：川口大司 出版社：有斐閣 出版年：2017	書名：日本の労働市場—経済学者の視点— 著者／編者：川口大司 出版社：有斐閣 出版年：2017
書名：地方消滅—東京一極集中が招く人口急減 著者／編者：増田寛也 出版社：中公新書 出版年：2015	書名：若年者就業の経済学 著者／編者：太田聡一 出版社：日本経済新聞出版社 出版年：2010
書名：「東京」に出る若者たち—仕事・社会関係・地域間格差 著者／編者：石黒格・李永俊・杉浦裕晃・山口恵子 出版社：ミネルヴァ書房 出版年：2012	書名：人口80万人時代の青森を生きる—経済学者からのメッセージ— 著者／編者：李永俊・飯島裕胤 出版社：弘前大学出版会 出版年：2019
評価方法及び判定基準： 参加者の発表内容や授業に対する態度（学習意欲、発言など）を総合的に勘案し、評価を行う。判定基準は、修士レベルの理解が得られているか否かである。なお、成績評価のための試験は実施しない。	
授業目標及び進め方： 報告担当者は、教科書の指定箇所を、責任を持って読むことはもちろん、関連事項についても自ら調査し、報告することが求められる。必要に応じて、教員も関連事項について講義を行う場合がある。	

第 1 回	テーマ： イントロダクション 内 容： 労働経済学とは。 教科書／参考書 川口 (2017)
第 2 回	テーマ： 労働供給① 内 容： 労働力参加と労働時間の決定について 教科書／参考書 川口 (2017)
第 3 回	テーマ： 労働供給② 内 容： 静学的労働供給モデルの実証分析 教科書／参考書 川口 (2017)
第 4 回	テーマ： 労働需要① 内 容： 生産関数と企業の利潤最大化理論 教科書／参考書 川口 (2017)
第 5 回	テーマ： 労働需要② 内 容： 労働市場の労働需要関数 教科書／参考書 川口 (2017)
第 6 回	テーマ： 労働市場の均衡 内 容： 完全競争市場の市場均衡と市場の失敗 教科書／参考書 川口 (2017)
第 7 回	テーマ： 人口減少と地域経済① 内 容： 人口減少のメカニズムと地域経済への影響 教科書／参考書 増田 (2015)
第 8 回	テーマ： 人口減少と地域経済② 内 容： 青森県の人口減少問題 教科書／参考書 李・飯島 (2019)
第 9 回	テーマ： 若者の地域間労働移動① 内 容： なぜ若者は地方から流出するのか 教科書／参考書 太田 (2010)
第10回	テーマ： 若者の地域間労働移動② 内 容： 東京に出る若者たち 教科書／参考書 石黒・李・杉浦・山口 (2012)
第11回	テーマ： 青森県に生きる若者たち① 内 容： 青森県の若年労働市場 教科書／参考書
第12回	テーマ： 青森県に生きる若者たち② 内 容： 地方大学生の地元と就業に関する意識 教科書／参考書
第13回	テーマ： 青森県に生きる若者たち③ 内 容： 地方回帰の現実 教科書／参考書
第14回	テーマ： 人口減少問題解決に向けて① 内 容： UJIターンの決定要因について 教科書／参考書 李・飯島 (2019)
第15回	テーマ： 人口減少問題解決に向けて② 内 容： あおもりモデルの可能性 教科書／参考書